

ASEAN 保険会議に参加し、日本の自然災害への対応等を紹介しました

一般社団法人 日本損害保険協会(会長：城田 宏明)では、2024年11月25日(月) - 28日(木)、ブルネイで開催されたASEAN 保険会議(ASEAN Insurance Council: 略称AIC)に参加し、自然災害に対する日本の対応等を紹介しました。

11月25日(月)には、協会長会社(東京海上日動社・業務企画部梶山次長)が、AICの教育委員会(AIEC)所管のASEAN Insurance Congressに登壇し、多くのASEAN加盟国で大きな課題となっている自然災害に対する日本の対応を紹介しました。(参加者は約150名)

プレゼンでは、能登半島地震での保険金早期支払の取組みや緊急地震速報等、日本の対応を具体的に説明し、官・民連携を含む事前の取組みの重要性を伝え、多くの参加者から「これまで知らなかった取組みを知ることができ、大変参考になった」等との感想が寄せられました。インドネシア損保協会(AAUI)の会長からは「同じ自然災害リスクに直面している国として日本の対応は大変参考になるため、今後もノウハウを共有いただきたい」との意向が示されました。

また、AIC 年次会合の各委員会に参加し、ASEAN 各国の保険協会長、保険長官や、AIC の会長を始め、要職で活躍するISJ卒業生を含む官・民保険業界関係者との交流を深めました。

AICは、ASEAN加盟10か国の保険協会を正会員とする非政府機関で、1978年に加盟国の民間保険業界間の協力促進を目的として設立されました。現在、ASEAN加盟10か国の15協会が正会員となっており、当協会は、2018年にASEAN域外で唯一の準会員(affiliated member)となり、会合に参画しています。

ASEAN域内での保険教育による専門性の向上や、自然災害対策、再保険、国境を超える自動車の強制自動車保険制度拡充や、医療費高騰等への対応などを検討しています。今回、AICの教育委員会(AIEC)では、当協会(経営企画部国際業務室・宮崎職員)から、「医研センター」の、査定担当者の医療知識向上(教育)の取組みを紹介しています。

当協会では、保険業界の課題解決や官民連携について重要な検討が行われているAICの論議の動向を注視し、参考となる情報提供等を行うことで、ASEAN各国の保険業界との関係を維持・強化してまいります。



ASEAN Insurance Congress で講演を行う梶山氏



AICのCarolyn(中心)専務理事から謝意が表された様子